



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

医療従事者のための フィジカルアセスメント スキルアップ講座

日時：7月1日(土) 9:30~16:30,

9月23日(土) 9:30~16:30

会場：明治薬科大学剛堂会館ビル
(東京都千代田区)

プログラム：

[7月1日(土)]

「呼吸器のフィジカルアセスメント
(肺の診察, 慢性呼吸不全や喘息,
肺炎, 急性・慢性呼吸不全へのアプ
ローチ)」「血谷健(杏林大学呼吸器内
科講師)」「循環器のフィジカルアセ
スメント(心臓の診察, 末梢動脈
診察)」水野篤(聖路加国際病院心血
管センター)

[9月23日(土)]

「バイタルサインでここまでわかる
(血圧, 脈拍「心拍数」, 呼吸, 体
温, SpO₂, 意識レベルの評価と実践
的解釈)」徳田安春(JCHO 本部顧
問)」「腹部のフィジカルアセスメン
ト(病歴, バイタルサイン, 腹部の
診察による急性腹痛へのアプロー
チ)」和足孝之(島根大学附属病院卒
後臨床研修センター臨床教育専任医
師)

参加費：両日とも参加：会員 1 万
6000 円, 非会員 2 万円, どちらか
1 日参加：会員 8000 円, 非会員 1
万 2000 円

対象：医師, 看護師, 訪問看護師,
看護教員, 理学療法士等

定員：60 名

申し込み方法：電話で定員に達して
いないか確認の上, FAX または
web 登録フォーム([http://www.lpc.
or.jp/seminar/send_form201607-
09.html](http://www.lpc.or.jp/seminar/send_form201607-09.html))より

申し込み・問い合わせ：ライフ・ブ

ランニング・センター

〒102-0082 東京都千代田区一番
町 29-2 一番町進興ビル 1 階

☎ 03-3265-1907

FAX 03-3265-1909

URL <http://www.lpc.or.jp/>

全国いきいき公衆衛生の会 サマーセミナー in Yonago

第 9 回 中四国地域保健医療福祉
従事者研修会

日時：7月8日(土), 9(日)

会場：鳥取大学医学部米子キャンパ
ス(鳥取県米子市)

テーマ：山陰の様々な活動から公衆
衛生マインドを学び, 交流し元気にな
る(鳥根が鳥取かわからないけ
ど, そこらへんに行ってきました。)

内容：

[1 日目] 記念講演「中山間地域に
おける地域包括ケアの取り組み」阿
部顕治(鳥根県浜田市弥栄診療所・
所長)／分科会「鳥根県益田市；住
民とともに歩む健康ますだ市 21 の
取り組み—健康づくりの旅 快適な
乗り心地を求めて」, 他

[2 日目] シンポジウム「先輩保健
師からこれからを担う人々へ伝えたい
こと」永江尚美(元保健師), 他

参加費：1500 円(資料代込, 1 日目
のみ 1000 円, 2 日目のみ 500 円),
宿泊(懇親会・朝食込)1 万 2450 円
(懇親会のみ 7980 円)

申し込み方法：下記, FAX または
メールアドレスに参加希望の旨を連
絡(宿泊・懇親会参加者は事前受付)

FAX 0859-38-6100

☎ c-tanaka@med.tottori-u.ac.jp あ
るいは, yoneatsu@med.tottori-u.ac.
jp

平成 29 年度 医療機器安全基礎講習会 (第 39 回 ME 技術講習会)

日時・会場・定員・締切日：

[大阪]

7月9日(日)・大阪国際会議場・

300 名・6月26日(月)

[沖縄]

7月22日(土)・P's SQUARE・100
名・7月10日(月)

[札幌]

7月30日(日)・北海道経済セン
ター・150 名・7月18日(火)

[福岡]

7月30日(日)・福岡商工会議所・
270 名・7月18日(火)

[名古屋]

8月6日(日)・Imy ホール・180
名・7月24日(月)

[東京]

8月19日(土)・ラーニングスクエ
ア新橋・220 名・8月7日(月)

概要：「医療安全施策の動向」厚生
労働省医政局経済課医療機器政策室
担当者／トラブル事例と対策「人工
呼吸器と呼吸モニタ」「心電図モニ
タアラーム」「電気関連」「医療ガ
ス」／リスクマネジメントの実際／
医療機器安全管理の実際

受講料：一般 1 万円, 学生 8000 円
(消費税, テキスト代含む)

申し込み：下記 URL 申込フォーム
から, あるいは同ページ申込書をダ
ウンロードし必要事項を記入・郵送

問い合わせ：公益財団法人医療機器
センター医療研修部

〒113-0033 東京都文京区本郷
3-42-6 NKD ビル 7 階

☎ 03-3813-8157(平日 10:00~
12:00, 13:00~17:00)

FAX 03-3813-8733

URL [https://www.jaame.or.jp/koushuu/
iryo/ir_me.html](https://www.jaame.or.jp/koushuu/iryo/ir_me.html)

第 22 回 日本在宅ケア学会学術集会

日時：7月15日(土), 16日(日)

会場：北星学園大学 C 館(札幌市厚
別区)

プログラム：「在宅におけるリスク
と安心のマネジメント」工藤禎子
(北海道医療大学)／「介護保険シス
テムの持続とケアの質の保障；公助
のあり方」白澤政和(桜美林大学大

学院)／「介護予防とセーフティ・マネジメント；自助，互助，共助，公助をつなぐ」亀井智子(聖路加国際大学大学院)，他／「若年性認知症の人が安心して暮らせる社会」平野雅宣(北海道若年認知症の人と家族の会)，他／「ご近所力を生かした孤立予防；互助，共助のあり方」谷川良一(グランドワーク西神楽)／「当事者・住民・専門職が創る安心な地域社会；ソーシャル・キャピタル」栗山文雄(白石社会福祉協議会)，他
問い合わせ：第22回日本在宅ケア学会学術集会事務局(担当：竹生礼子)
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学看護福祉学部看護学科地域保健看護学講座
☒ take-r@hoku-iryo-u.ac.jp
URL <http://184.73.219.23/jahhc/syuukai/22th/index.html>

東京都訪問看護師就労応援事業講演会

日時：7月22日(土) 13：30～16：30
会場：東京都看護協会2階サークル室(東京都新宿区)
プログラム：「地域包括ケアを支える訪問看護」坂本すが(東京医療保健大学看護学部教授)／「訪問看護ステーションを開業して」柴田三奈子(ラピオン代表取締役)／「離職期間があっても訪問看護師として復帰」高橋操(訪問看護ステーションみけ)／「新人看護師として」稲崎淑乃(山の上ナースステーション)／「訪問看護師としての働き方」
対象：都内在住・在職の看護職(離職中の方も)，看護学生(訪問看護に関心のある方)
定員：150名
参加費：無料
申し込み：下記URL申込フォーム，あるいはFAXで(申込用紙はwebからダウンロード可)
問い合わせ：東京都看護協会事業部
☎ 03-5229-1281

FAX 03-5229-1524
URL <http://www.tna.or.jp/>

2017年度CNS協議会精神看護分野系統的卒後トレーニングプログラム

日時：7月29日(土) 9：30～16：30，30日(日) 9：00～16：00
会場：神戸市生涯学習支援センター(神戸市中央区)
プログラム：統合失調症患者の自我による安全空間生成／グループ内力動の理解と自己／統合失調症，発達障害患者の自我と自己／無意識・前意識の照度・欲求の把握とセルフケアの意図的過程への展開／事例によるPAS力動的面接法，DER技法の展開／自分の事例を用いた力動的看護面接と介入技法／ロールプレイ
講師：小谷英文(PAS心理教育研究所理事長)
持参物：検討した事例の概要，検討場面，介入技法について，A4用紙1枚にまとめたもの
参加費：会員9000円，非会員1万円
申し込み・問い合わせ：宇佐美しおり
☎ 096-373-5470
☒ susami@kumamoto-u.ac.jp(なるべくメールで)

臨床実践の現象学会第3回大会

日時：8月6日(日) 9：00～17：30
会場：東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)
プログラム：「身体経験の成り立ち」松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター)，他
参加費：2000円
事前参加登録期間：6月5日(月)～7月20日(木)
問い合わせ：西尾美里(窓口対応)
☒ clinical.phenomenology@gmail.com
URL <http://clinicalphenomenol.wixsite.com/conference2017>

com/conference2017

日本訪問看護財団研修

精神障がい者の在宅看護セミナー

日時：8月25日(金)～27日(日)
会場：ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター(東京都新宿区)
内容：精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者及び家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助のポイント／精神障がい者及び介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者および介護者家族への対人関係の援助／精神科訪問看護の実際
講師：望月聡一郎(国際医療福祉大学教授)，寺田悦子(円グループ代表取締役)，遠藤真史(那須フロンティア作業療法士)，近藤直司(大正大学臨床心理学科教授)，萱間真美(聖路加国際大学大学院精神看護学教授)，富川順子(大阪府立大学大学院看護学研究科准教授)
対象：保健師，看護師，准看護師，作業療法士
受講料：会員2万円，非会員4万円

平成29年度保健師実践力向上セミナー

日時：8月26日(土) 10：30～16：00
会場：CIVI研修センター新大阪東(大阪市東淀川区)
テーマ：初めての学会発表—実践を研究発表につなげる
内容：講師からの学会発表をまとめるためのポイント等の講演／発表経験者の体験談(発表する際の注意点やその後の変化等)／質疑応答
参加費：学会員1000円，非学会員3000円
申し込み方法：日本公衆衛生看護学

会ホームページ(下記 URL)からオンライン手続き

申し込み期間：7月3日(月)～8月18日(金)

URL <http://plaza.umin.ac.jp/~JAPHN/>

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第14回学術大会

日時：9月16日(土)10：00～16：30

会場：北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(札幌市中央区)

テーマ：保健医療福祉における専門性と当事者性の再考

プログラム：特別講演「当事者研究による知識と技術の co-production」熊谷晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター准教授)／シンポジウム「保健医療福祉における専門性と当事者性を考える」土島智幸(医療法人稲生会理事長)、寺本主佑(足寄町役場兼足寄町国保病院・ソーシャルワーカー)、近田真美子(福井医療大学講師・看護師)、伊藤たてお(難病支援ネット北海道代表)、熊谷晋一郎

参加費：(事前申込)会員 2000 円、非会員 2500 円、(当日申込)一律 3000 円(特別講演のみ無料)、(情報交換会)3500 円

事前申し込み期限：8月31日(木)

問い合わせ：第14回学術大会実行委員会

✉ nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/

URL <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>

訪問看護基礎講座 —思いきって一歩 (2日間研修)

日時：9月23日(土)～24日(日)

会場：東京工科大学蒲田キャンパス3号館(東京都大田区)

内容：

[1日目] 訪問看護をめぐる動向／

訪問看護と病院内看護の違い／訪問看護の基本姿勢と役割／訪問看護制度のあらましなど

内容：

[2日目] 訪問看護の展開過程(演習含む)／訪問看護に必要な知識／対人援助技術／地域における訪問看護師の役割と多職種協働

講師：安藤真知子(財団事務局次長)、他

対象：新人訪問看護師、訪問看護に携わりたい看護職員、在宅看護論を担当する看護教員等

受講料：会員 1 万 5000 円、非会員 3 万円

問い合わせ：日本訪問看護財団 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階

☎ 03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

日本国際看護学会 第1回学術集会

日時：11月11日(土)

会場：国際協力機構 JICA 横浜(横浜市中区)

演題登録締切：8月31日(木)

問い合わせ：学術集会事務局(担当：辻村弘美)

✉ kokusaikango2017@gmail.com

URL <https://jsin2017.wixsite.com/jsin>

第6回日本公衆衛生看護 学会学術集会

日時：2018年1月6日(土)、1月7日(日)

会場：大阪国際会議場(大阪市北区)

プログラム：会長講演「公衆衛生看護の原点から未来へつなぐ。健康格差解消にむけ、地域の人々と協働する新たな保健師の力」上野昌江(大阪府立大学大学院)／基調講演「格差の中の死から学び、生きる支援としてのまちづくりへ」反町吉秀(国立精神・神経医療研究センター精神

保健研究所)／教育講演「Public Health Nurses-“Kuroko” addressing health disparities in the U.S.」Lee Smithbatt(セントルイス大学)／特別シンポジウム「健康格差の中で生きる人への支援」：「健康格差縮小に向けた公衆衛生活動」松田亮三(立命館大学)、「特定健診未受診者への家庭訪問からみえた健康格差の実態と支援」和泉京子(武庫川女子大学)、「離島における地域包括ケアシステムの基盤整備」森山美知子(広島大学)／ヒストリカルセミナー I「保健師の力量格差と地域の健康問題の取り組み」久常節子(日本看護協会)／教育講演「10代の母親理解と支援のあり方」森本志磨子(子どもセンターぬっく)／シンポジウム「場の特性を活かし健康格差に取り組む」有馬和代(大阪市東住吉区)他、「着実に積みあげる保健師の力量形成」中板育美(日本看護協会)他／ヒストリカルセミナー II「公衆衛生看護としての学校看護の歴史と課題」瀧澤利行(茨城大学)／市民公開講座『「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人。—ALS 的日常と生きる患者・家族に保健師が果たす役割とは』川口有美子(日本 ALS 協会)／「堺コッカラ体操」今津弘子(堺市)

事前参加登録期間：6月1日(木)～9月30日(土)

一般演題・ワークショップ募集期間：6月1日(木)～8月31日(木)

参加費：事前：会員 8000 円、非会員：9000 円、学生(院生除く)3000 円、当日：会員 9000 円、非会員 1 万円、学生(院生除く)3000 円

問い合わせ：第6回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局(担当：国井)

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21 株式会社ユピア内

FAX 050-3737-7331

✉ japhn6@yupia.net